

埼玉医科大学医学部

令和 8 年度 一般選抜（後期）理科 生物

出題の意図

1

ショウジョウバエの初期発生における母性効果遺伝子の働きを題材として、文章 A では前後軸形成、器官形成に関わる遺伝子の知識と理解を問うとともに、実験と結果の読み取りを通じて解釈・推論の能力を問う。文章 B では、因子間の相互作用についての実験と結果の読み取りを通じて解釈・推論の能力を問う。

2

文章 A では、ヒトの免疫に関する用語と細胞性免疫・体液性免疫のしくみについて幅広い知識を問う。文章 B では、免疫反応の一次応答と二次応答の違いを対数グラフの読み取りを通じて理解度を測る。

3

生物の分類に関する知識と提示された実験結果を結びつけて理解する能力を問う。また、与えられたグラフの読み取りを通じて解釈・推論の能力を問う。

4

文章 A では環境変化と生物進化との結びつきに関する理解度を問う。文章 B では、与えられた表と進化系統樹の読み取りを通じて論理的思考能力を問う。